

ITU-R SG 5
第16回会合報告書
(案)

2020年8月7日

日 本 代 表 団

1 会議の概要

ITU-R SG 5 は移動業務、固定業務、無線測位業務、アマチュア業務及びアマチュア衛星業務を所掌している。

第 16 回会合は、2020 年 7 月 31 日にウェブ会議にて開催され、44 か国の主管庁及びその他関連機関から 189 名が参加した。日本からは表 1 に示す 19 名が出席した。

議長は M.FENTON 氏(イギリス)であり、副議長は M.ABDELGHANY 氏(エジプト)、S.AL-BALOOSHI 氏(ドバイ)、R.ALAKBARLI 氏(アゼルバイジャン)、Y.ALSHOUDOKHI 氏(サウジアラビア)、J. ANDRÉ 氏(フランス)、新 博行氏(日本)、A.S.CALINCIUC 氏(ルーマニア)、A.DARVISHI 氏(イラン)、O.JAMMELI 女史(チュニジア)、A.LATRACHE 氏(モロッコ)、H.MAZAR 氏(フランス)、M.OMER 氏(スーダン)、A.PANDEY 氏(インド)、B.PATTEN 氏(アメリカ)J.P.R.LOPEZ 氏(メキシコ)、S.SHAVGULIDZE 氏(グルジア)、A.SHURAKHOV 氏(ロシア)、J.Y.SONG 女史(韓国)、B.Z.TAH 氏(コートジボワール)、Y. WAN 氏(中国)の計 21 名である。

今回の会合においては、16 件の入力文書について審議を行った。

勧告案については、表 2 に示すとおり、1 件が郵便による採択・承認同時手続で合意された。また、研究課題案、報告案については、表 3 に示すとおり、1 件の新報告が承認された。

入力文書一覧は巻末の表 4、勧告文書の採択・承認手続きの手順については巻末の図 1 のとおりである。

表1 SG 5会合出席者一覧

氏名	所属
丸橋 弘人	総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室
伊敷 勉	総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課
熊原 涉	総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課 基幹通信室
東 良樹	総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課 基幹通信室
内田 寛武	総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課 基幹通信室
小川 博世	国立研究開発法人 情報通信研究機構
福原 好晴	国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構
小山 敏	一般社団法人 電波産業会
加藤 康博	一般社団法人 電波産業会
西岡 誠治	一般社団法人 電波産業会
大槻 信也	日本電信電話株式会社
伊藤 信幸	日本無線株式会社

宮寺 好男	日本無線株式会社
吉野 仁	ソフトバンク株式会社
山崎 高日子	三菱電機株式会社
新 博行	株式会社 NTT ドコモ
増田 慎太郎	株式会社 NTT データ経営研究所
松末 竜	株式会社 NTT データ経営研究所
丸田 桂一	株式会社 NTT データ経営研究所

表 2 SG 5 会合での勧告の採択状況

	採択		郵便による採択・承認の同時 手続		通常の郵便による採 択及び承認手続		決議 1-6 第 11 章に 基づく 編集上の 修正が承認された 勧告	通常 の勧 告廃 止承認手 続	解決を 求めるた め RA-19 で 審議		WP への 差戻し	
	新	改訂	新	改訂	新	改訂			廃止	新	改訂	新
WP 5A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
WP 5B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
WP 5C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
WP 5D	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
TG6/1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0		1		0				0		0	

表 3 SG 5 会合での研究課題の採択、報告の承認状況

	採択された研究課題案				承認された報告案		
	新	改訂	削除	WP へ差 戻し	新	改訂	削除
WP 5A	0	1	0	0	0	0	0
WP 5B	0	0	0	0	0	0	0
WP 5C	0	0	0	0	0	0	0
WP 5D	0	0	0	0	1	0	0
TG6/1	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	1	0	0	0	0	0
	1				1		

2 審議の内容

2.1 オープニング関連

ロシアより、会議の開催方法に関する質問や提案について取り扱うことを希望する旨要請があり、議長からアジェンダ 12 にて取り上げるとの回答があった。

イランより、WRC-23 議題向けの共用検討について、既存の ITU-R 勧告・報告でカバーされていない運用特性、保護基準も考慮すべきであり、主管庁あるいは ITU-R メンバーシップに対してそれらの情報提供を求める必要があるとの課題提起があり、会合招聘に関わる回章に情報提供を求めるテキストを含めるべきとの要請があった。カウンセラが本件を持ち帰り、BR 局長と協議をすることになった。

Study Group 5 配下の各 Working Party 議長について、前研究会期に引き続いての任命が確認された。その際に、以下の議論があった。

- イランより、Working Party 議長に対して、議論を進める際に今後も公平性、中立性等を維持した上で議論に臨むようコメントがあった。
- ATDI からそれを補足する旨のコメントがあり、さらに現 Working Party 議長の経験は貴重な財産であり、継続を支持するとのコメントがあった。
- ロシアより、次の研究会期においては、Working Party が会合を開催する前に Study Group の最初の会合を開催し Working Party 議長の任命・確認を行うべきであること、さらに Working Party 議長の業務の確認の必要性や、議長の経験の保全、今後の Working Party をリードする人材の支援についての考慮の必要性についてのコメントがあった。
- 米国から、Working Party 議長の任命については RAG において任期やジェンダーバランスが議論中であることが指摘され、Working Party の副議長の選出に際してもジェンダーバランスを考慮する必要がある旨コメントがあった。
- イランより、WRC に関わる議題は、技術的な知識のみならず、規則的な側面についても必要となる豊富な専門知識が求められるため、ジェンダーバランスに反対をするわけではないが、Working Party 議長には知識・経験が十分にある人材が必要であること、また、今後の後継者を育成していく必要性が述べられた。
- 豪州からは、ジェンダーバランスの課題は認識しているが、この点は Study Group 5 が独立で議論すべきことではなく、RAG で議論すべきとコメントした。

エジプトにより、UAE の Dr. Abdulhadi Mahmoud AbouAlmal 氏が TG 6/1 の副議長に ASMG として推薦され、承認された。イランより、TG 6/1 は任命された副議長に対して、取り扱う議題は非常に複雑であり、繊細であるため、尽力してほしい旨が伝えられた。

ロシアより、WRC-27 暫定議題の検討に関わる責任グループの任命について、CPM23-1 では Study Group までしか指定されておらず、Working Party の指定が必要ではないかとの課題提起があり、イランからのコメントもあり、Study Group 議長が Working Party 議長らと協議を行った後、次回の SG 5 会合に入力を行って議論を行うことにした。

なお、Study Group 議長の接続に問題が発生したため、途中から WP 5A 議長が議長代行として議事の進行を行った。

2.2 WP 5A(IMT を除く陸上移動業務等)関連

(1) 概要報告

イランより WP 5A と WP 5C とで共通のテーマがあり、ジョイントミーティングが必要であるが、WP 5B については WP 5A と WP 5C と平行で会合開催すべきではないとの意見が出された。議長代行よりリクエストとして承知したが、BR が適切に対処策を検討してくれるだろう旨が示された。

(2) 研究課題のエディトリアル更新

- Editorial update of Question ITU-R 101-5/5
特段の議論はなく合意された。

2.3 WP 5B (海上移動業務、航空移動業務及び無線測位業務)関連

(1) 概要報告

WP 5B 議長よりエグゼクティブレポート(5/13)の内容が紹介され、WP 5B と WP 5A/5C は会合の並行開催をすべきでないと考えていること、仮想会議はうまく機能しているが挙手者リスト自動生成機能があればさらに使いやすくなること、多くのリエゾン文書を審議していること、CPM23-1 の要請に従い WRC-23 議題 1.6、1.7 及び 1.8 の審議体制を議論していること等が報告された。

イランより、次回の WP 5B 会合で議題 1.8 の審議体制を見直すとの議長報告の記載があるがそれには反対であること、議題 1.6 及び 1.7 は新たなワーキンググループを立ち上げるか、既存のワーキンググループで取り扱うかであると意見が述べられた。

イスラエルより、リエゾン文書は Working Party での承認ではなく、その下の Working Group レベルで最終審議・承認すればよいのではないかと提案がなされたが、イランより、個別の Working Group には参加できない人もいるので Working Party で審議・承認すべきと反対された。

2.4 WP 5C(固定業務及び短波帯の固定・移動業務)関連

(1) 概要報告

WP 5C 議長から活動概要が報告され、特段のコメント等はなかった。

2.5 WP 5D(IMT)関連

(1) 概要報告

WP 5D 議長より、SG 5 に勧告改訂案 M.1457-14、新報告案 M.[IMT-2020.OUTCOME] が入力されていること、WRC-23 の結果を受けて WG のスコープの拡大、議題毎の SWG の設置したこと、今回は電子会合として優先課題に絞って審議を進め IMT-2020 無線インタフェース勧告策定に向けた step 5-7 を完了し、12 月のミーティングで勧告初版を完成予

定であることが説明された。

ATDI から、勧告 M.1036 改訂案について、前回会合で合意できなかったが、IMT-2020 導入に向けた重要な勧告であり早期の完成が望まれるとの意見が出された。

ロシアからは、WRC-19 で課題となった RR21.5 の AAS 適用に関する BR に対するガイダンスを早急に作成する必要があること、現在作業中である勧告 M.1036 改訂案については WP 4A 等の関連する Working Party に照会すべきことが、指摘された。

イランからは、WP 5D 議長の会合運営への努力に感謝が示されるとともに、WP 5D では SWG 毎にミーティング報告を作成しており他の Working Party も見習うべきであること、WP 議長の executive report のフォーマットを統一すべきこと、他の会合スケジュールと重なることを防ぐため電子会合であっても会合の期間を延長しないことが要望された。

(2) 勧告

- 5/8: Draft Revision of Recommendation ITU-R M.1457-14

WP 5D 議長より、FDMA/TDMA 技術に関して更新が行われていることが説明され、PSAA に進めることが提案された。イランから、以前よりこの文書には中国が反対する記載が残されているとして、改めてこの記載の必要性が問われたが、中国から発言はなく、議長よりこのままで PSAA 手続きに進めることが提案され、異論なく合意した。

(3) 報告

- 5/9 Draft new Report ITU-R M.[IMT-2020.OUTCOME]

WP 5D 議長より、技術提案募集から外部団体の評価を経て、勧告への採用判断までの作業が完了し、その過程をまとめた文書であることが説明された。イランから、専門家が時間をかけて合意した文書であるとして、一括で合意することを提案され、日本から P25 の脚注 15 のブラケット削除提案を反映の上、異論なく承認された。

2.6 その他全体に関わる事項

(1) 他の SG からのリエゾン等

- 5/206 Report ITU-R BT.2470-0 – Use of Monte Carlo simulation to model interference to DTTB (SG6)

特に質疑はなく、全てノートされた。

(2) 他団体からのリエゾン等

- 5/3 Liaison statement on ITU Inter-Sector coordination (ITU-T TSAG)
- 5/4 Liaison statement on the first meeting of ITU-T Focus Group on environmental efficiency for artificial intelligence and other emerging technologies (FG-AI4EE) (ITU-T (FG-AI4EE))
- 5/5 Liaison statement on revised Question ITU-R 101-5/5 (ITU-T SG 2)
- 5/6 Liaison statement on information WTSA-20 preparation (ITU-T SG 5)

- 5/10 Liaison statement to Radiocommunication Study Groups and Working Parties (copy for information to ITU-T and ITU-D Study Groups) (Chairman, CCV)

特に質疑はなく、全てノートされた。

(3) その他の入力文書

- なし

2.7 クロージング関連

今後の会合予定(以下に掲載)が共有された。ウェブ会議の開催方法について、平行で開催することを避ける旨やウェブ会議での実施により会合の時間が短くなり、時間がもっと必要である旨など、ウェブ会議の開催における改善要望など様々な意見が寄せられた。

3 今後の予定

Dates		Meeting	Remarks
5 Oct 2020	16 Oct 2020	WP 5D	e-Meeting
4 Nov 2020	13 Nov 2020	WP 5C	e-Meeting
9 Nov 2020	20 Nov 2020	WP 5A, WP 5B	e-Meeting
17 Nov 2020	19 Nov 2020	WP 5D	e-Meeting
23 Nov 2020	24 Nov 2020	SG 5	e-Meeting

表 4 SG 5 入力文書一覧

文書 番号	提出元	タイトル
1	Chairman, SG 5	Assignment of texts to the Study Group 5 Sub-Groups
2	SG 5	Documents to be carried over from the 2015-2019 study period
3	ITU-T TSAG	Liaison statement on ITU Inter-Sector coordination
4	ITU-T (FG-AI4EE)	Liaison statement on the first meeting of ITU-T Focus Group on environmental efficiency for artificial intelligence and other emerging technologies (FG-AI4EE)
5	ITU-T SG 2	Liaison statement on revised Question ITU-R 101-5/5
6	ITU-T SG 5	Liaison statement on information WTSA-20 preparation
7	Director, BR	Outcome of the sixteenth meeting of the Chairmen and Vice-Chairmen of the Radiocommunication Study Groups, Working Parties and other Subordinate Groups
8	WP 5D	Revision of Recommendation ITU-R M.1457-14 – Detailed specifications of the terrestrial radio interfaces of International Mobile Telecommunications-2000 (IMT-2000)
9	WP 5D	Draft new Report ITU-R M.[IMT-2020.OUTCOME] – The outcome of the evaluation, consensus building and decision of the IMT-2020 process (Steps 4 to 7), including characteristics of IMT-2020 radio interfaces
10	Chairman, CCV	Liaison statement to Radiocommunication Study Groups and Working Parties (copy for information to ITU-T and ITU-D Study Groups)
11	Chairman, WP 5D	EXECUTIVE REPORT FROM WORKING PARTY 5D
12	Chairman, WP 5A	EXECUTIVE REPORT OF THE TWENTY-THIRD MEETING OF WORKING PARTY 5A
13	Chairman, WP 5B	EXECUTIVE REPORT ON THE TWENTY-FOURTH MEETING OF WORKING PARTY 5B
14	Chairman, WP 5C	EXECUTIVE REPORT OF THE TWENTY-THIRD MEETING OF WORKING PARTY 5C
15	WP 5A	EDITORIAL UPDATE OF QUESTION ITU-R 101-5/5 Quality of service requirements in the land mobile service
16	SG 6	Report ITU-R BT.2470-0 – Use of Monte Carlo simulation to model interference to DTTB

図1 勧告文書の承認プロセス

